

シリーズ **空き家探訪記**

5軒に1軒が空き家といわれる生野区。戦時中、空襲の被害が少なかった生野区は、今でも戦前の家屋が数多く残っている地域です。風変わりな間取りや、増改築の跡、美しい建具等々、一軒一軒異なる個性をもつそれらの物件には、現代の建売住宅にはない魅力があります。「シリーズ・空き家探訪記」では、様々な人と生野の空き家との出会いを取り上げ、それぞれの暮らしと間取りを重ね、理想の住まいを思い描きます。



第7回

大阪デザイン教育研究所

メンバー：大谷伊都、笹井柚子音、高繁寧々、豊嶋風香、弓場羽唯

大阪市立デザイン教育研究所で日々デザインを学ぶ学生さんが、生野にやってきて空き家を探索。そこには人々の暮らしや流れていた時間を感じる空間が。どこか懐かしさを感じるノスタルジックな空間で「ゆったり、まったりできる。」そんな素敵な妄想を、デザインを学ぶみなさんが自由な発想と想像力で描いてくれます。さあ、皆さんの頭の中にはどんな妄想が広がっているのでしょうか。

物件

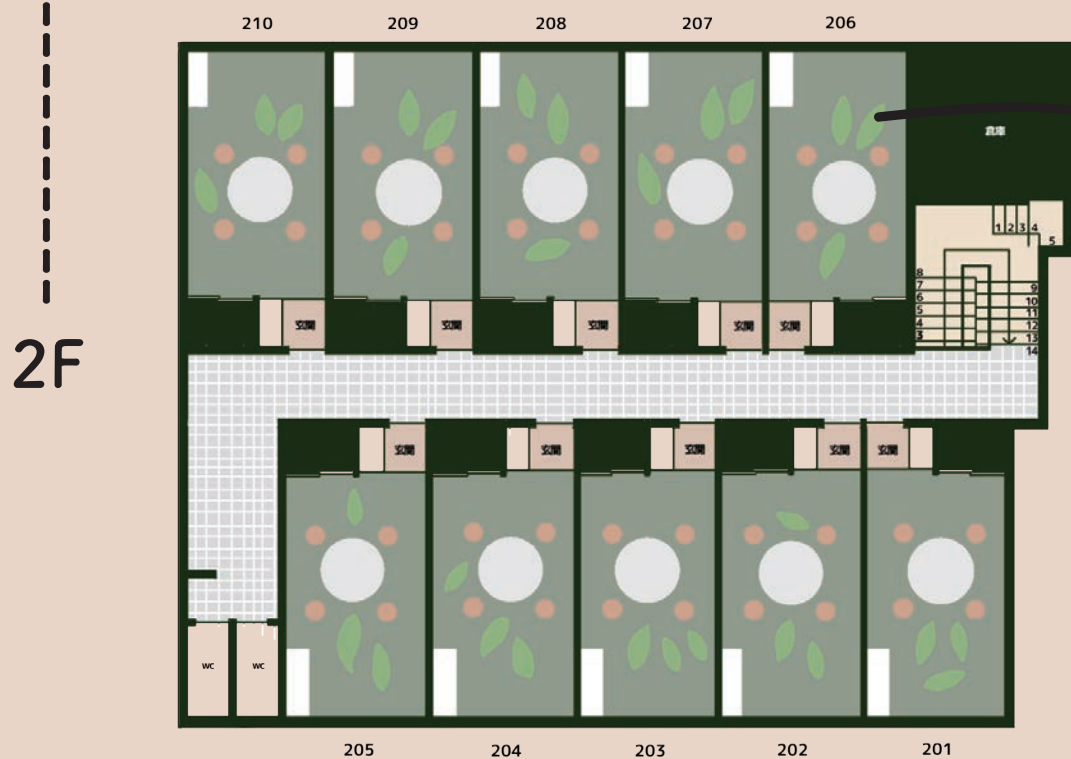
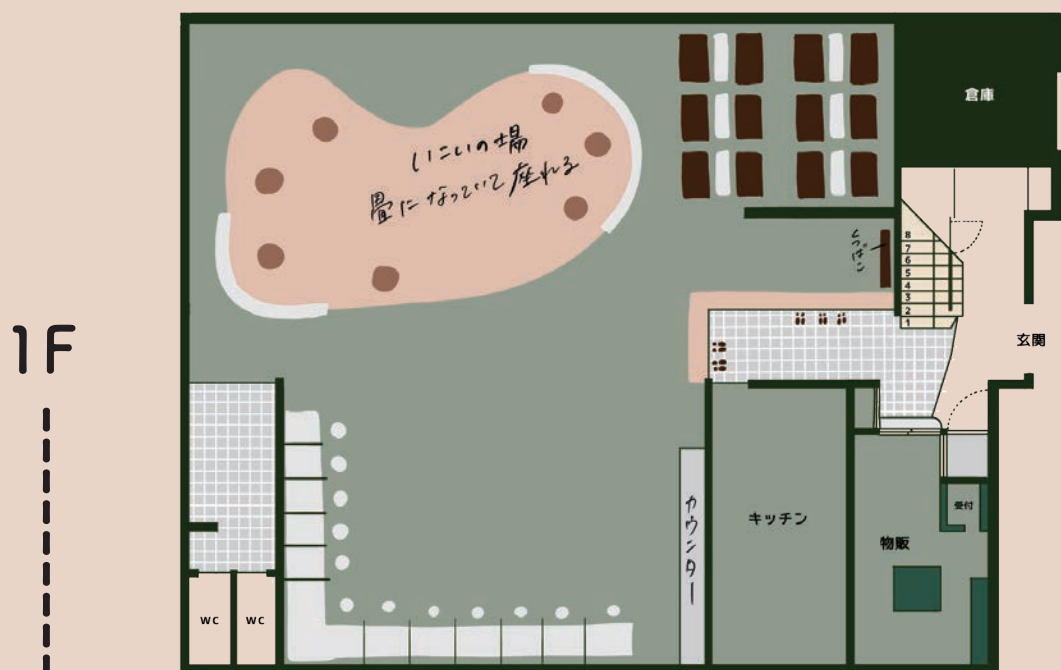
ここがイチオシ！

- ・タイル造のへっついさんや裏庭が残る下町の2軒長屋
- ・野菜を育てたり、広いスペースで絵を描いたり自分好みにアレンジ可能

お抹茶専門店

maccha

1階は広々とした空間でまったりとした時間を。
2階は予約制のプライベートスペースでゆったりとした時間を。



2階の部屋には可愛い葉っぱのクッション

お部屋の中には葉っぱのクッション☺



「maccha」 goods!

